

「アミノバイタル®」カップ 2022 第 11 回 関東大学サッカートーナメント大会 東京都予選 開催要項

* : 一般公開情報

第 1 条 【大会名称】 *

「アミノバイタル®」カップ 2022 第 11 回 関東大学サッカートーナメント大会 東京都予選

第 2 条 【主催】 *

公益財団法人東京都サッカー協会
東京都大学サッカー連盟

第 3 条 【日程】 *

1 回戦 3 月 5 日、6 日
2 回戦 3 月 12 日、13 日
3 回戦 3 月 19 日、20 日
代表決定戦 3 月 26 日、27 日

第 4 条 【会場】 *

各大学グラウンド 他

第 5 条 【開催会場条件】

- (1) 天然芝または人工芝のフィールドであること
- (2) 台風や荒天を除いた雨天においても使用可能な施設であること
- (3) 1 試合開催の場合は 3 時間以上、2 試合開催の場合は 5 時間以上の施設利用が可能であること
- (4) 公共交通機関（有料特急や新幹線、高速バスを除く）の利用を前提としたアクセスであること
(徒歩 20 分以内目安、路線バスの場合は 30 分に 1 本以上)
- (5) 新宿駅または八王子駅を午前 7 時に出発し、キックオフ 2 時間前までに会場最寄り駅（バス停）に到着できること
- (6) キックオフ 2 時間 30 分後に会場を出発し、午後 11 時までには新宿駅または八王子駅に到着できること
- (7) 原則として、関東圏外および山梨県では開催しない
- (8) 他大学の会場を借用する場合、会場設営から片付けまでの全てを運営チームが担当することとする
- (9) 他大学の会場を借用する場合、持ち主大学が同日同会場にて同大会の試合がない場合に限る
- (10) 5 時間確保の場合、キックオフ時刻を指定する（①45 分後キックオフ ②3 時間後キックオフ
例：13～18 時借用の場合、①13：45 ②16：00）※5 時間より長く確保している場合は、上記の限りではない
- (11) 開催条件に疑義が生じる場合、東京都大学サッカー連盟競技委員会が開催可否を検討し、決定する

第 6 条 【入場料・試合観戦】 *

入場料：原則として無料（有料の場合は別途告知）

ただし、会場名を公開している会場のみ、観戦可能とする

会場名非公開の場合でも関係者（部員・保護者等）の観戦を認める場合もある

第 7 条 【参加資格】 *

本大会への参加資格を有するチーム及び選手は、当該年度、（公財）日本サッカー協会および（一財）全日本大学サッカー連盟に登録されている、以下の（1）～（4）の条件を満たす単独の大学の学生で構成されたチーム並びに当該各大学所属の選手に限る。ただし、参加資格に疑義がある場合は、東京都大学サッカー連盟総務委員会が決定する。

- (1) 選手登録資格がある者は、本連盟の加盟大学の学部生とする（大学院生、科目等履修生、通信教育課程等は除く）

- (2) チームを構成する選手の中に外国籍を有する選手を含む場合、大会エントリー、試合エントリー・常時出場とも5名以内とする（（公財）日本サッカー協会が定める準加盟チームはこの限りではない）
- (3) 通算の選手登録年数に制限は設けない
- (4) 2022年4月1日以降も（1）～（3）も満たす者（2022年4月1日以降に入学する者は含まない）

第8条 【選手のエントリー】

- (1) 所定の期日までにエントリー用紙を提出すること
- (2) 初回のエントリーでの選手登録は30名以内とする
- (3) 追加エントリーは試合日直近の火曜日18時まで認める（土日以外の試合は、試合日4日前18時までとする）
ただし、この期日までに申請内容の誤記載が修正されなかった場合、当該申請全員の追加エントリーは認めない
- (4) 追加エントリーは3名以内とし、初回エントリーに30名登録しない場合や抹消申請をした場合でも人数は変わらない
- (5) 1試合に対する追加エントリー申請は1度までとする
- (6) 背番号は1番～99番とする

第9条 【ユニフォーム】

- (1) （公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる
- (2) 使用する1週間以上前の水曜日18時までには東京都大学サッカー連盟競技委員会の承認を受けること
- (3) 特にデザインを新調する場合、デザイン案の段階から早めに競技委員会と調整すること
- (4) 各チーム・選手は大会に登録した色彩（正・副最低2組）のユニフォームを使用しなければならない
- (5) ユニフォームの広告表示により、試合会場への表示料が発生する場合、当該チームの負担とする

第10条 【大会方式】 *

全てトーナメント方式で行う

第11条 【試合方法】 *

- (1) 競技規則は現行の（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」に従う
- (2) 試合時間は90分とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は15分間とする。
また、90分間を終了して勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。
ただし、各ブロック決定戦に限り10分ハーフの延長戦を行う。それでも決しない場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。（後半終了から延長開始までのインターバルは5分、延長戦のハーフタイムは1分とする）
- (3) 交代に関しては事前に登録した最大7名の交代要員から5名までの交代が認められる（回数の制限は設けない）
- (4) チーム役員は事前に登録した最大6名がテクニカルエリアに入ることができ、その都度ただ1名のスタッフのみが、試合中テクニカルエリア内において、指示を出すことができる
- (5) 主審より退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に次の1試合に出場・登録できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する
- (6) 各1試合を通じて、主審より警告を2回受けた選手・チーム役員は、次の1試合に出場・登録できない。
また、本大会において累積2回の警告を受けた選手・チーム役員は、次の1試合に出場・登録できない。

第12条 【試合エントリー後の選手変更】

メンバー表提出後から試合開始前に選手が怪我等の特別の理由に限り、下記の通りに入れ替えを認める

(1) 先発予定選手を変更する場合

控え選手に限り先発予定選手に変更することができ、さらに新たな選手を控え選手とすることができる。

この場合、当初の先発予定選手を控え選手とすることはできない。

ただし、当初の先発予定選手がゴールキーパーである場合は例外として控え選手とすることができる。

- (2) 控え選手を変更する場合
新たな選手を控え選手とすることができる。
- (3) チーム役員の場合
やむを得ない事情に限り、変更を認める。

第13条 【マッチコーディネーションミーティング】

マッチコーディネーションミーティング（MCM）は以下の者が出席し、キックオフ70分前に開催する

- (1) 会場責任者
- (2) 運営学生リーダー
- (3) 両チーム監督または監督に相当する当日のチーム責任者
- (4) 主審、副審、第4の審判員

第14条 【会場設備】

- (1) ハーフウェーラインの延長線上に運営本部を設置する
- (2) 運営本部から10～15m程度離れた等距離の位置に両チームベンチを設置する
- (3) 対戦表左側記載のチームが運営本部から左側のベンチを使用する
- (4) 各チームベンチには、椅子を13脚設置する
- (5) 各チームベンチおよび運営本部に熱中症および雨天対策のため、テントを設置する。なお天候によっては、会場責任者の判断により設置しないことも可とする
- (6) 各チームベンチ前面にテクニカルエリアを設置する。テクニカルエリアはフィールドおよびベンチ両脇から1m程度の範囲とし、マーカー等で明確にする
- (7) 原則として、各チーム控室および審判控室を準備する
- (8) ゴール（移動式ゴールを含む）はフィールドに確実に固定しなければならない
- (9) 東京都大学サッカー連盟が指定する広告看板または横断幕がある場合、スペースを確保し、掲出しなければならない
- (10) クラブパートナーの広告看板または横断幕等の掲出を希望する場合は、事前に東京都大学サッカー連盟に申請し、承認を得なければならない

第15条 【試合球】

試合球は「MIKASA FT550B-YP-JUFA」とし、以下の運用とする

- (1) 試合開始時のボールは未使用球とし、原則として対戦表左側記載のチームが用意する
- (2) その他の使用ボールは両チーム持ち寄りの使用済みボールを認めるが、可能な限り未使用球に近い状態にすること
- (3) 空気圧は1,000hPaとし、予め各チームが調整の上、提出する

第16条 【審判員】

- (1) 1～3回戦の主審および代表決定戦の主審・副審について、（公財）東京都サッカー協会へ派遣を依頼する
- (2) 前項以外の審判員については、各参加大学の（公財）東京都サッカー協会所属の3級以上の審判員にて行う。
なお、選出される審判員は各大学の責任の下、試合に相応しい態度・パフォーマンスを発揮できる者とし、
マッチコーディネーションミーティング（MCM）への出席およびMCM以降、審判員としての準備に従事できる者とする。
- (3) 審判員はキックオフ80分前に会場に到着していなければならない
- (4) 学生審判員の割当は、東京都大学サッカー連盟競技委員会にて決定する。原則として対戦チーム以外の第三者から選出するが、平日（祝日含む）開催となった場合や競技委員会の決定において、当該チームからの選出とする場合がある。
- (5) 学生審判員は東京都大学サッカー連盟が指定するレフェリーウェアを着用しなければならない

第 17 条 【キックオフ時刻の厳守】

- (1) いずれのチームも、あらかじめ定められたキックオフ時刻を厳守しなければならない
- (2) いずれか一方のチームがキックオフ時刻に試合会場に現れない場合、相手チームはキックオフ時刻から 45 分間、待機する義務を負う（キックオフ時刻から 45 分後に試合が開始できる状態にない場合は不戦試合とする）。なお、会場利用時間に制限がある場合は、この限りではない。

第 18 条 【不可抗力による開始後の試合中止の取り扱い】

試合開始後、天候等の不可抗力により試合中止となった場合、以下の中から東京都大学サッカー連盟理事会が決定する

- (1) 90 分間の再試合
- (2) 中止時点からの試合再開
- (3) 中止時点での試合成立
- (4) 抽選による勝敗決定（不戦試合とし、みなし開催とする。スコアは 3 - 0）

なお、懲戒罰については、(1) および (4) については悪質な退場（出場停止 2 試合以上相当）を除き、元の試合の懲戒罰は無効とする。(2) および (3) については、有効とする。

第 19 条 【運営係員および補助係員】

本連盟が主管する全大会は、参加大学の運営協力が不可欠である。参加大学は各試合において連盟ないし運営担当大学が指定する人数のボールパーソンおよび担架要員等を各チームの責任により派遣しなければならない。

第 20 条 【参加費・経費】

参加費は、32,000 円とする。

チームが大会参加のために関わる一切の経費（旅費・宿泊費・その他）は参加者の負担とする。

ただし、大会運営に関わる経費については、以下の通りとする。

- (1) 会場提供チームに対して
 - ・会場提供に関わる経費は、会場提供チームの負担とし、支給しない
 - ・参加チームでの分担も原則として認めないが、1 試合開催の会場にて両チームが合意した場合は折半を認める
 - ・ただし、一般公共施設の会場提供へ 1 試合につき 10,000 円を上限として実費を補助する
- (2) 運営担当チームに対して
 - 運営担当チームに対して、1 試合につき 5,000 円を支給する
- (3) 審判員に対して
 - 審判員に対する経費については別に定める。なお、協会派遣審判員と学生審判員は同じ取扱いとする。

第 21 条 【本大会への接続】 *

各ブロック決定戦に勝利したチームは、「アミノバイタル®」カップ 2022 第 11 回関東大学サッカートーナメント大会 プレーオフに出場する権利と義務を負う。代表順は、前年度リーグ戦順位に基づいたものとする。

第 22 条 【新型コロナウイルス対応】

- (1) 新型コロナウイルス陽性者発生またはその疑いがあり、試合予定日に実施できない場合、不戦敗とする
- (2) 本大会に参加したチームは、本大会に参加後、新型コロナウイルスに罹患した選手または関係者がいたとしても、その罹患について、本連盟は何ら責任を負わないことを予め承諾したものとみなす

以上